

J A職員紹介



おざき しんたろう  
尾崎 慎太郎 (27) 田辺支所

fresh&smile  
フレッシュ&スマイル

田辺支所で金融の融資業務を担当しています。JAに入ってから初めての配属先が田辺支所だったので、同じ支所で勤務を続けて4月で6年目を迎えます。これまで窓口や渉外など様々なことを経験してきました。組合員や地域の方々に頼りにしていただけるよう、迅速かつ正確な業務を日々心掛けています。今後とも進んでいきたいです。旅行が好きで、休日によく近場に出かけます。夢は海外旅行で、いつかオーストラリアに行ってみたいです。

梅干しでインフル予防  
学生・梅農家らで調査



田辺市とJA紀南でつくる紀州田辺うめ振興協議会は、梅干しを食べてインフルエンザを予防しようと、県内外の料理教室生や大学生、地元梅農家ら11名で調査を実施。梅干しを食べてから2週間、インフルエンザや風邪の罹患の有無、疲労・肩こり・目覚めなどの体調変化を記入することになった。

信愛女子短期大学の学生が、梅干しを食べてから2週間、インフルエンザや風邪の罹患の有無、疲労・肩こり・目覚めなどの体調変化を記入することになった。7人のモニターが1日2粒の梅干しを50日間食べて健康面での効果を調査している。体調維持とインフルエンザや風邪を予防するため、梅干しを多くの人に食べてもらいたい。3月末まで食べた結果についてアンケートをとります。

農林水産省が発売した、地震災害等の緊急時に備える家庭で必要な食料品を示したガイドブック「副菜」に格上げされたのをきっかけに、JA紀南が販売している家庭用の備蓄梅干し

地震災害等の緊急時に備える家庭で必要な食料品を示したガイドブック「副菜」に格上げされたのをきっかけに、JA紀南が販売している家庭用の備蓄梅干し。梅干しは阪神淡路大震災以降、災害の度に注目され、JA紀南でも備蓄向けとして白干の販売を行ってきしたが、家庭用の本格製造は初めてです。また今年3月には、和歌山県の平成25年度の備蓄用梅干しの供給元としてJA紀南が採用されました。



JAが販売している家庭用の備蓄梅干し

南は家庭での備蓄用から販売を初めています。梅干しは阪神淡路大震災以降、災害の度に注目され、JA紀南でも備蓄向けとして白干の販売を行ってきしたが、家庭用の本格製造は初めてです。また今年3月には、和歌山県の平成25年度の備蓄用梅干しの供給元としてJA紀南が採用されました。

子どもの健全育成に  
卒園児に「ちゃぐりん」贈る

JA紀南は、子どもの健全育成を図ろうと、JAの学童農園を利用しての幼稚園、保育園の卒園児に雑誌「ちゃぐりん」を贈りました。3月19日に芳養保育所で行われた贈呈式で、小幡博巳生活本部長が卒園児に「ちゃぐりん」を手渡しました。

JA紀南は、子どもの健全育成を図ろうと、JAの学童農園を利用しての幼稚園、保育園の卒園児に雑誌「ちゃぐりん」を贈りました。3月19日に芳養保育所で行われた贈呈式で、小幡博巳生活本部長が卒園児に「ちゃぐりん」を手渡しました。



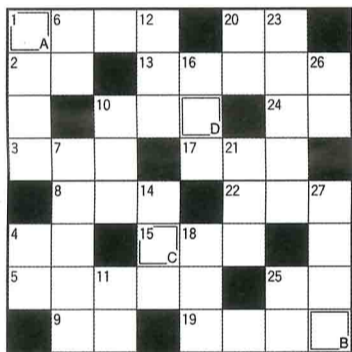
小幡本部長からちゃぐりんを受け取る園児

読者プレゼント



問題

二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



正解者から抽選で10名様に



JA紀南の商品券(1,000円分)をお贈りします。

\* Aコープや紀菜柑、JAのガソリンスタンド等でご利用できます。

★ヨコのカギ

- ①花祭りでおしゃか様の像にかけます
- ②島原の——、大塩平八郎の——
- ③桜肉ともいわれます
- ④展望——、エッフェル——
- ⑤金蔵を建てた、と歌われる虫
- ⑥児童公園には滑り台やジャングルジムなどの——があります
- ⑦スピード——、宝——、あみだ——
- ⑧武士が腰に差していました
- ⑨——の賛成が得られたので、本案は可決されました
- ⑩外野手はレフト・センター・——
- ⑪赤ちゃんがおなかにいます
- ⑫木を切り倒したあとに残ります
- ⑬——の裁きを受ける
- ⑭魚を狙ってさおを握る人
- ⑮この作品は——を抜いた出来です
- ⑯中身が出ないよう、袋に——をしておいて

★タテのカギ

- ①入浴のとき、ここで体をゴシゴシと
- ②眠る場所
- ③サラー——、カメラ——
- ④4月は——のシーズン、新たな学校生活の始まりです
- ⑤これは——の人物で実在しません
- ⑥ぐるぐる回して締めます
- ⑦川遊びに使われる——船
- ⑧重さの単位
- ⑨桜が咲いたらやりましょう
- ⑩——不明、消費者——
- ⑪読書好きの人はたくさん持っています
- ⑫——と妻
- ⑬雲がありますが、どんよりという感じではありません
- ⑭ヒレは高級中華料理の食材です
- ⑮——を天に任せてみましょう
- ⑯十番——、真剣——

答えは、JA紀南ホームページ  
(<http://www.ja-kinan.or.jp>)で締切後に発表します。

ハガキに答えとあなたの住所・氏名・年齢・電話番号と本紙の感想等を書いて、JA紀南広報係(〒646-0027田辺市朝日ヶ丘24-17)までお送りください。締切りは4月14日(当日消印有効)。当選は発表をもって代えさせていただきます。応募で得た個人情報は抽選と商品発送のみに使用いたします。

あなたの作品で紀南の四季を！

JA紀南カレンダー2015 写真募集



JA紀南では、2015年版「JAオリジナルカレンダー」に使用する写真を募集します。テーマは「紀南の四季」。紀南地域の風光明媚な風景や由緒ある伝統行事まで、紀南の四季の移ろいを一冊のカレンダーで表現します。多く皆様のご応募をお待ちしています。

- テーマ 「紀南の四季」(風景や伝統行事、スナップ写真も可能)
- 撮影地域 JA紀南管内で撮影した写真とする。田辺市(本宮・龍神除く)・上富田町・白浜町・すさみ町・串本町(旧古座町除く)
- 募集期間 平成26年4月1日(火)~7月31日(木) \*当日消印有効
- 応募資格 JA紀南の組合員、または管内に住所を有する方



■応募方法

応募作品のプリント見本(A4サイズ)に次の事項を記した応募票を貼付して送付してください。

- 【応募票記入事項】
- ①氏名
  - ②年齢
  - ③住所
  - ④電話番号(自宅および携帯電話)
  - ⑤メールアドレス(PC/携帯どちらでも可)
  - ⑥作品タイトル
  - ⑦撮影時期(年月)
  - ⑧撮影場所

■審査

JA紀南の関係者等によって厳正に審査を行い、表紙を含め13点の採用作品を決定します。

■結果発表

平成26年10月にJA広報誌「kinan」の誌面で発表します。採用者には別途、事前に審査結果をご連絡し、写真データを提供させていただきます。

■賞品

採用者には、ささやかですが記念品とJAカレンダー完成品を進呈します。

■お問い合わせ先

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-17  
JA紀南 総合企画部 カレンダー係  
電話0739-23-3513 メール info@ja-kinan.or.jp

■詳しくは応募要項をご覧ください。

JA紀南の各支所、本所総合企画部にご用意しております。またJA紀南の公式ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.ja-kinan.or.jp/>